

令和5年度 学校評価報告書

令和6年3月27日

北海道教育委員会教育長 様

北海道札幌琴似工業高等学校長
宮 岡 勝 郎

次のとおり令和5年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1) 自ら学ぶ意欲を育て、基礎的・基本的な内容の定着を図る学習指導の推進に努める。
(2) 責任感と思いやりの心をもち、自ら律する力と社会性を育む生徒指導の充実を図る。
(3) 自らの生き方を考え、主体的に進路を決定する力を育成する。
(4) 自他の生命を尊重し、相手を思いやる「豊かな心」を育てる。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教育課程	○新学習指導要領の実施に伴い、評価方法の改善や主体的な学びにつながる教育課程の編成に取組み次年度以降を見据え授業の改善を実践した。	自己評価項目に対しては、令和3年度よりも評価の向上が見られおおむね適切であると評価された。
改善方策	新学習指導要領に基づき、観点別評価の改善や授業改善について研修を行い理解を深める。	
学習指導	○生徒状況の把握と授業規律確立のために、教職員間で共通理解を図る。今年度もICT教育についても積極的な取組を行い、教育の保障が行える体制作りをすすめることができた。 ○今夏の猛暑や各種感染症の流行等の影響が無かった訳ではないが、今年度については予防対策をしながら体験的な学習についても取組むことができた。	自己評価項目に対しては、おおむね適切であると評価された。
改善方策	・学習習慣の確立 ・個に応じた授業改善の推進 ・学習意欲の向上 ・学習モラルの醸成 ・授業時数確保に向けて行事等の精選を継続 これまでと同様、生徒の実態に応じた教科指導を行っていくため、また、生徒の基礎基本を向上させるために日々の授業改善について継続的に行っていく。	
生徒指導	○様々な案件に対して連携を密にし、組織としての対応により効果をあげた。カウンセリングの活用等、悩みや問題行動の早期発見についての連携して対応した。	自己評価項目に対しては、おおむね適切であると評価された。
改善方策	・教職員の協力体制 ・生徒理解の深化 ・家庭との連携 ・生徒保護者への初期対応	
進路指導	○進路講話、進路学習等の体系的な指導を行うとともに、積極的な進路活動に努め、4年生は数多く早期に就職・進学希望者の内定を決めることができた。また、在校生に関しても外部機関と連携しながら進路意識を高める行事を行った。	自己評価項目に対しては、おおむね適切であると評価された。
改善方策	・進路意識の高揚 ・進路情報の発信・共有 ・系統立てた進路指導の充実	
公表方法	学校評議委員会で公表するとともに、ホームページで公表する予定	

3 添付資料

令和5年度学校評価 集計・分析